

会 議 録

- 1 会議名 第3回 上越市青少年健全育成センター運営協議会
- 2 議題（公開・非公開の別）
 - (1) 平成26年度事業・活動等報告 (公開)
 - (2) 平成26年度街頭指導結果報告 (公開)
 - (3) 「地域青少年育成会議」状況報告 (公開)
 - (4) 平成27年度運営方針と事業計画 (公開)
 - (5) その他 (公開)
 - (6) 情報交換 (公開)
- 3 開催日時 平成27年2月17日(火) 午前10時から午前11時50分
- 4 開催場所 上越市教育プラザ 研修棟 中会議室
- 5 傍聴人の数 0人
- 6 非公開の理由 なし
- 7 出席した者(14名) 欠席者1名(宮崎 俊英)
- 8 発言の内容

<挨拶> 会長：藤井清比古

青少年健全育成センター所長：笹川正智

<議事>

(1) 平成26年度 事業・活動報告

資料に沿って、平成26年度の事業内容、活動状況について報告

質疑はなし

(2) 平成26年度 街頭指導結果報告

資料に沿って街頭指導の状況について説明

【渡邊委員】

月2回、夕方5時半から7時に街頭指導している実情について説明。

高田駅の立体駐車場の吸い殻については、駐車場ということで、一般の方も利用している。

ドライバーがまとめて吸い殻を捨てて行ったりもするので、一概に高校生とは言えない。

高田駅前のジベタリアンについては、親御さんの送迎待ちにあたり、ベンチが待合室にしかなく、腰かける所が少ないため、座りやすいロータリーの縁石に座って待つという現状がある。

【杉本委員】

八幡宮でもたばこの吸い殻が散乱しているとの事だが、どの地域か？自分の住む地域にも八幡宮がある。身近にあるのに、地元の間が情報を知らないわけにはいかない。

【事務局】

直江津のイトーヨーカドー近く、西本町の府中八幡宮である。

【会長】

立体駐車場の件は、駐車場関係者との連絡を密にしてもらい、また、駅の迎え待ちの人数を把握する事で、対処の仕方を考えられるのではないかと。

(3) 「地域青少年育成会議」状況報告

資料に沿って今年度の地域青少年育成会議の状況を報告

質疑はなし

(4) 平成27年度 運営方針と事業計画（案）説明

資料に沿って平成27年度の運営方針と事業計画（案）について説明

【杉本委員】

言葉の表記について 1 ページ、8 ページに自動販機とあるが、以前の資料は自動販売機が自販機であった。

【事務局】

自動販売機で統一し、訂正するものは訂正する。

【碓井委員】

注意カードの活用について。今までどのようなカードを使い、その効果はどうであるか。

また、青少年育成会議のメディアスマホ関係の活動支援の構想を教えてください。

【事務局】

各拠点（高田地区公民館、市民プラザ、謙信交流館、学びの交流館、教育プラザ、芙蓉荘）に街頭指導日誌を置き、街頭指導を行っているが、ここ数年注意カードの使用はない。

以前利用していた時は、主に一人遊びの小学生低学年から幼児に保護者に注意を促すために渡していた。注意カードには喫煙、自転車の二人乗り、危険な一人遊び用が用意してある。

実際活用されていないが、今後どう活用していくかも含めて活用方法を検討していきたいということで、今回方針に載せさせてもらった。

育成会議の支援のメディアスマホの関係の研修会の支援については、金銭的な支援ではない。地域をあげての事なので、CS 関係や地域との連携における相談や講師の紹介等の運営面で支援をしていきたいと考えている。メディアスマホに関する研修会については、育成会議協議会役員会の中で来年度の運営において、一層支援をしていくという方向であり、それに合わせて支援を行っていく。

【会長】

注意カードにおいて、小学生低学年や幼児に保護者への働きかけ等で利用する等、色々な方法が考えられると思うが、育成委員の方の知恵もお借りしたい。

【渡邊委員】

CS 全国大会のCS とは？

【事務局】

CS とは、コミュニティースクールの略。学校の付属機関である学校運営協議会が設置されており、学校の運営等において、地域の人達と一緒に考えるための会であるが、学校運営協議会を設置している学校をコミュニティースクールと呼ぶ。

コミュニティースクールの全国大会が今回は上越市で行われる。昨年下関で行われ、約1500人が集まった。

【会長】

広報活動の件だが、上越広報に学び愛フェスタ等の行事や会議等があった記事は載っているが、地道な育成委員の街頭指導等の活動の記事は今までない。街頭指導等を通じた問題点や良い点等育成関係の記事を載せてもよいのでは。

【事務局】

今まで街頭指導等の地道な活動はPRできていなかったのが現状である。広報の限られたスペースの中で編集の段階で記事として載るかは厳しいところはあるが、活動の宣伝に努めて行きたいと思う。

(5) その他

【間嶋委員】

メディアスマホの件について上越地域における現状と課題を教えてください。

【事務局】

我々大人はパソコン等の普及によってだんだんと学びながらインターネットを利用してきたが、今の子どもたちは生まれた時からネット環境にいるので、活用方法が違う。

今は、中学生よりも小学生や幼児が課題である。携帯やスマホだけでなく、ゲーム機もインターネットにつながるようになってきているため、家の中でネットにつながる環境になっていると小学生や幼児も利用できてしまう。そのゲーム機を祖父母が買い与えているケースも多いため、学校だけでなく、地域全体で考えていくのが現状としては必要であると考えている。

【小出委員】

現在、学習機タブレットがある。それもインターネットにつながっている。そのため、そのタブレットでもネットワーク上で仲間とつながることが可能である。

スマホや携帯だけでなく、ゲーム機や学習機でもインターネットにつながる事が可能なため、中高生よりも小学生の低学年～中学年にも問題が発展してきている。購入するのは、祖父母が多いこともあるため、PTAと学校だけでは無理があり、育成会議と連動して、地域をまきこんでの意識啓発が必要である。スマホでSNSに契約しているだけで、個人情報も業者に流れていることも知る必要がある。

【高橋委員】

高校生のスマホ所持率はほぼ100%である。「持って来るな」には無理があるので、学校ごとに使用ルールがある。情報モラルについては、授業や講演会等で教育している。実際に起きている事件としては、某高校の生徒が自分たちの飲酒をネット上に流し、大炎上した。また、誹謗・中傷の書き込みがあり、消しようとしたが、IDやパスワードがわからなくなり、消去できなくなった。又、学校のホームページより校長の写真を利用し、なりすまして意見を述べたりしていた等がある。

県立高校では、県教育委員会より今年度からネットパトロールを始めた。民間業者に委託して、ネット上に学校名や個人情報があがっていないかパトロールしてもらっている。毎月報告してもらっている。中レベルの問題が多い。レベルに応じた対処で、命に危険のある高レベルの場合は警察等関係機関に報告する形になっている。対象は県立高校のみである。いずれにしてもネット上の問題が増えてきている。

(6) 情報交換

【藤田委員】

上越警察署管内の平成26年度の非行少年検挙補導状況について資料をもとに説明。

特徴として、窃盗犯、初発型である万引きが多い。数字上では、平成25年度より減少してきているが、数値化されていないものもある。

警察として心配している事は、中学校での対教師暴力、窓ガラスを割る、教師の車を壊す等が数件発生している事、小中学校でのわいせつ事件が数件あった事等である。また、冬には出没が確認されていないが、直江津駅に通称レッドギャングと呼ばれている者がたむろしていて、何人かは警察が辞めさせているが、中学校等で勧誘活動しており、まだ加盟している者がいるのが現状で、壊滅にいたっていない。

【渡邊委員】

上越少年サポートセンターの相談業務等について説明。

警察の相談機関であり、家出等で学校より紹介されて相談に来る。警察にお世話になる前段階のケースや補導された後の相談がある。保護者からは、夜遊びや無断外泊に対する相談が多くなっている。不登校等による相談もある。

サポートセンターの移転についての報告もあり。3月2日より上越警察署生活安全課の中に移転。電話番号も活動も変化なし。今までと同じように行っていく。関連して行っていた子ども達との活動については、今後も継続できるように検討していく。

【杉本委員】

色々な問題行動が報告あったが、それにかかわる町内としては知らないわけにいかないなので、今後は問題があった時点で、会議を待つまでもなく地域や町内会長等を通して報告してほしい。

【栗田委員】

心のケアにおいて相談業務にあたることが多い。子どもの貧困対策ということで、家庭の事情（経済的な面も含めて）等によって縛りが難しいとか色々な悩みを抱えている子どもの受け皿に学校はなれと言われている。プラットホーム的な学校の役割が期待されているが、学校だけでは支えきれないこともあるので、地域の支援をお願いしたい。

【間島委員】

子どもとの関わりが少なく情報が入ってこない。ゲーム機の祖父母の買い与え等の話もあるので、町内や老人会への情報提供も大切と感じた。

【渡辺委員】

初参加である。知らない事が多すぎた。地域の大人たちにも問題情報等を知らせて、みんなで注意して子ども達を守っていくことが必要ではないかと思われる。

<閉会> 増田副会長

9 問合せ先

上越市教育委員会生涯学習推進課

青少年健全育成センター TEL 025-544-4690

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。

委員名簿

氏名	推薦機関・団体名	備考
宮崎俊英	上越市小学校長会	欠席
小出俊雄	上越市中学校長会	
高橋哲也	上越地区高等学校長協会	
碓井和子	上越市民生委員児童委員協議会連合会	
渡邊長芳	上越地区保護司会	
藤田和徳	上越警察署	
渡邊美香	上越少年サポートセンター	
杉本正彦	上越市町内会長連絡協議会	
藤井清比古	上越市地域青少年育成会議協議会	会長
竹内恵市	上越市子ども会連合会	
古川美也子	上越市小中学校PTA連絡協議会	
増田榮子	上越市青少年健全育成委員協議会	副会長
栗田きよ子	上越市立教育センター	
間嶋正	公募委員	
渡辺江都子	公募委員	

備考 委員の任期は、平成26年6月1日から平成28年5月31日まで。

事務局

○ 上越市青少年健全育成センター 笹川 正智 竹田 一夫 佐藤 政弘
八島 幹雄 山下 香織

〒942-8563 下門前1770（教育プラザ内） TEL・fax 544-4690